

issue 01. for web

WHAT IS TRAINWRECK ABOUT?

8月にジャパンツアーを控える TRAINWRECK に、メンバー自身による“TRAINWRECK とは何か？”を綴ってもらった。書いてくれたのはボーカルで歌詞のほとんどを手掛ける Andreas。あくまで基本的な姿勢が表明されているが、これを読めば必然としての音、必然としての歌詞が、必然として鳴っているという事が垣間みれるのではないだろうか。

“TRAINWRECK とは何か？”

おそらくその答えは TRAINWRECK のメンバーそれぞれが違った答えをするだろう。
俺達は自分達のバンドで何をするかについて、違ったアイデアとゴールを持った5つの個性だ。

やはり俺は、TRAINWRECK の大部分は楽しむ事だと思っている。
俺達はツアーに出て、友達と再会し一緒に過ごし、新しい友達を作る事が大好きだ。
ツアーに出てライブをするという事はいつでもどこでも楽しいものだ。
それは毎日の骨の折れる様な退屈な仕事や責任から逃れる方法でもあるんだ。

次の事はおそらく TRAINWRECK とは何かについてのとても大きな存在要因だ。
使い古した言葉の様に聞こえるかもしれないが、俺にとってバンドをするという事はカタルシス以上のことなんだ。
あなたは30分間のノイズの中で夢中になり、全ての社会の慣習から抜け出し、肩にかかっている全ての重荷をぶちまける事が出来る。
フィードバックの音が消えた後、俺は完全にへとへとになるが、浄化させられる様だ。
ある意味では俺を正気に保つ為にこのバンドを必要としているんだ。

俺は誰もがクリエイティブであり、自己表現する事が出来、何かを創造出来るとも信じている。
絵を描く事、詩を書く事、もしくは文学研究や音楽を演奏する事。
そして、もちろん俺達は音楽をやる事をものすごく楽しんでいるんだ！
俺達は俺達が好きな音楽を演奏し、その音楽は俺達自身について書かれた事なんだ。

そして、俺が TRAINWRECK に1つの何か漠然としたメッセージを決めるとしたら、それは次の側面に関係があるだろう。
誰もがみんなクリエイティブになって、誰もが何かを達成できる。
みんなバンドを始められるし、レコードをリリースし世界中をツアー出来る。
これは俺達がまだハードコア/パンクに情熱を燃やせるかということでもある。
そのアイデアは、しっかりと編まれたネットワークの手助け共に、同じシーンを共有し成し遂げられる。
DIY は僕らに多くの事を意味し、バンドを初めた2005年からこのバンドが採っている方法で、他のどんな方法も望んでいない。

もちろん、俺達は神も宗教も、もしくはその組織も信じていない。
俺達は、性差別・同性愛嫌悪・反ユダヤ・人種差別、そしてその他のどの社会の仕組みの圧迫にも反対している。
俺達は反資本主義の考えを支持し、平等で解放された個人の自由のつながりを支持する。
分岐りきったハードコア/パンクのコミュニティーだ。
これらは TRAINWRECK のメンバーが信じる基本的な原則で、歌詞にそれを見つければいい。
しかし、これらの様なトピックが俺達の歌詞の全てではない。
いたるところで TRAINWRECK は叙情的であり、俺は俺自身に影響がある事を書き、それは真実になる為の唯一の方法だ。

そして、次の事が TRAINWRECK とは何かを簡潔に述べたものだ。
楽しみ、友達、表現、創造、誠実。

Text by Andreas (TRAINWRECK)

Translated by Kazushi Matsumura (NO MEMORIES)